

## №2 「仲良く学ぶ」②

おはようございます。

校長先生の声届いていますか？

今日からいつもどおりの学校に戻りますが、みなさん体調はばっちりですか？まだまだコロナはおさまっていませんので、マスク、手洗い、うがい、教室の換気などには十分注意してくださいね。

さて、緊急事態宣言が発令され、前回4月19日にお話ししてから、約1ヶ月以上たちましたが、前のお話しあげていますか。

校長先生の家にはもともとの犬のチェリーがいました。チェリーが5歳のときに、先生の娘がネコをひろってきました。ニヤンマルと名付けて、元気になるまでのあいだだ飼うことにしました。

どんどんニヤンマルは元気になって、チェリーと仲良くなつて、結局そんなに仲がいいのにネコだけを捨てるわけにいかず、両方飼うことになったというところまでお話ししたと思います。

そして、ニヤンマルが来て2ヶ月ぐらいしたとき、なんだかニヤンマルのおなかが大きくふくらんできたのに気がついたのです。

はじめは、なんか病気になったのかなあと思っていたのですが、元気にごはんも食べていますし、苦しそうにもしていなかったので少し様子をみていました。

そして、ある日家に戻つてみると、いつもニヤンマルが寝ている机の下から小さな声で「ニャー、ニャー」と子猫の鳴く声が！

そう、ニヤンマルが子猫を産んでいたのです。4匹も。

びっくりしました。おなかがふくらんでいたのは、病気ではなく、おなかに赤ちゃんがいたからなんですね。校長先生たちが家をあけて留守にしている間にひとりで産んでいたのでした。

ニヤンマルは、自分が産んだ赤ちゃんを一生懸命なめてきれいにしていました。そのうち、赤ちゃんはニヤーニヤー鳴き出して、目もきちんとあいていないのにニヤンマルお母さんのおっぱいを探し当てて、チューチューブ飲み始めました。

4匹の赤ちゃん子猫たちは、産まれてすぐは大きさはみんな同じだったのですが、すぐに大きさに違いがでてきました。同じように寝て、起きておっぱいを飲むのですが、なぜ大きさが変わってきたと思いますか？

近くの人と聞き合つてみてください。

なぜ大きさが変わってきたのか。それはどうもおっぱいの飲む場所で、おっぱいの出方が違うみたいで、たくさんでているところで飲んでいる子猫は大きくなり、あまり出ないところでいつも飲んでいる子はあまり成長しませんでした。ちなみに足の方がおっぱいがよくでるそうです。



そして、一番たくさんおっぱいを飲んで大きくなったのがオスのダンケです。あだなはダン君です。

体重が6kgもあり犬のチェリーと同じくらいです。力も強く、押し入れなどをぐいっとあけて中で遊んだりもします。でもとてもやさしくて、自分からケンカにくとか、その頃はうさぎも飼っていたのですが、ウサギをいじめるとかは絶対にしない子でした。動作もネコとしてはおっとりしていて、おじさんみたいな感じのネコです。



2番目に大きくなったのがオスのチャトランです。あだなはちゃとで

す。とても運動神経がよく、今では2mぐらいの高さの壁は乗り越えてしまいます。また、ケンカっぽやくて、他の兄弟とすぐにもめてしまします。好奇心がとても旺盛で、一度大きな蜂をさわってしまい、手がものすごく腫れてしまいました。



手になって、小さなねずみやもぐらを捕まえてきたり、1度は自分より大きな鳥を捕まえて、口にくわえて帰ってきたときには本当に驚きました。突然ひっかきに来るので、近くにいるときは要注意です。

3番目はメスのマハロです。とても人見知りが激しくて、お客様が来たときなどは、押し入れのすみっこに隠れて絶対出てきません。でも、今では狩りがとても上

仲が悪くてしまっています。

こんな4匹の子猫と、お母さんネコ、そしてチエリーが仲良く暮らしていました。

しかし、このあと、この仲良し家族に大きな事件が起きました。

今日の話はここまでです。最後まで先生の話を静かに聞いてくれて本当にありがとうございます。またよかつたら、今日のお話の感想を校長室前のボードにつぶやいてみてください。これで校長先生の話を終わります。



最後の一番小さいネコはメスのココアです。あだなはこっちゃんです。いつも一番おかあさんのそばでおっぱいを飲んでいたので、たぶんあまり飲めていなかったと思います。そのため、本当に小さくて途中で死んでしまうのではと心配していたぐらいです。何とか無事すくすく育って今では元気しています。

こんなこっちゃんですが、とても賢いねこで、ドアの開け方などは、人間がするしぐさをじっと見ていてすぐに覚えてしまいます。また、1度家から200mぐらい離れた公園で遊んでいるのを見かけて、家に帰れるか心配していましたが、晩ご飯のときにはちゃんと家に帰ってきました。鳥の声のものまねも上手です。でもチャトランと